

学生(留学生を含む)
及び保護者のみなさまへ

学 長 大森 一宏

新型コロナウイルス感染への対応について (第4版)

新型コロナウイルス感染症については、4月1日に政府「新型コロナウイルス感染症対策本部」において、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県他3府県に対し、「緊急事態宣言(新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく)」が発出されて以降、4月16日には上記7都府県と北海道他5府県の13都道府県が新たに「特別警戒都道府県」として指定されました。それ以外の県についても「緊急事態宣言」の対象とされています。このように新型コロナウイルス感染症は一向に収束の気配がありません。

本学ではこれまで、「新型コロナウイルス感染症の対応について」(2月21日付初版)より学生及び保護者のみなさまへ向けて周知してまいりました。改めて、「新型コロナウイルス感染症対策専門家会議」の提言(2020年4月22日付)を踏まえ下記のとおり再周知いたします。

今が新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐ重要な時期です。学生及び保護者のみなさまにおかれましては、引き続き、感染予防を徹底し、ご自身の健康保持に努めてください。

なお、今後の政府の動向により対応等が変更になる場合がありますので、今後の情報に十分ご注意ください。

記

1. 予防について

- (1) 普段の生活の中で、こまめに石けんを使って手洗いをしてください。
- (2) 咳・くしゃみをする際は、ティッシュやハンカチ、袖を使って、口や鼻をおさえてください。
- (3) 日頃より、毎日必ず検温をしてください。感染を疑う症状の早期発見に努めてください。別添の「健康管理表(学生用)」を活用してください。
- (4) 十分な栄養摂取と睡眠の確保を意識し、規則正しい生活習慣(リズム)を心掛けてください。
- (5) 「3つの密(密閉・密集・密接)」を避けるため、別添の「3つの密を避けるための手引き」を参照し、感染拡大を防止する行動をしてください。
- (6) 自宅の室内でのウイルス量を下げするため、1～2時間ごとに窓や扉を開け部屋の換気をしてください。

2. 感染が疑われる場合について 別添の「新型コロナウイルス感染症対応フローチャート」も参照してください。

- (1) 毎日の検温や体調管理により、発熱(37.5度以上)、または咳、または身体がだるいなど風邪等の症状が生じた場合には、大学に来ることも含め、外出しないでください。また、37.5度未満の発熱でも、体調が悪い自覚がある場合は無理をせず、自宅療養してください。
- (2) 発熱等の症状が生じた場合には、毎日(朝・晩)、必ず体温を測定して記録してください。
- (3) 次の症状がある方は帰国者・接触者相談センターへ連絡し、指示に従ってください。
 - ① 風邪の症状や37.5度以上の発熱が4日以上続いている
(解熱剤を飲み続けなければならないときを含みます)
 - ② 強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある
※高齢者や基礎疾患等のある方は、上の状態が2日程度続く場合
- (4) 体調面に不安がある場合には、健康相談室まで相談してください。
- (5) 感染者と濃厚接触したとみなされた場合は、自宅待機し、本学(健康相談室又は学生支援課)へ連絡するとともに、マスクの着用など感染拡大の防止を図り、帰国者・接触者相談センターへ相談し指示に従ってください。

3. 海外渡航について

- (1) 渡航先の国・地域において行動制限を受けたり、出国が困難となる事態を防ぐため、不要不急の渡航を止めてください。海外渡航をする際には、必ず、事前に学生支援課へ連絡してください。
- (2) 海外から日本に帰国した全ての学生は、帰国後速やかに、電話にて本学(健康相談室又は学生支援課、外国人留学生はグローバル教育課)へ連絡してください。
また、海外から日本に帰国した学生は、2週間は大学に来たり、外出をせずに自宅で待機し、健康観察してください。発熱等の症状が出た場合は、速やかに帰国者・接触者相談センターへ連絡し、指示に従ってください。また、本学(健康相談室又は学生支援課、外国人留学生はグローバル教育課)にも速やかに連絡してください。
- (3) プライベートの渡航についても上記に準じてください。

4. 学生又は同居の家族が感染した場合について

(1) 学生本人又は同居の家族が感染した場合について

学生本人又は同居の家族が感染した場合は、直ちに本人又は保護者より電話にて本学（健康相談室又は学生支援課）へ報告してください。症状が治まり政府等機関から許可されるまでは自宅待機とし、大学への入構を禁止します。また、同居の家族が感染した場合も、学生本人は濃厚接触者となりますので自宅待機とします。

(2) 感染学生との接触した場合の学生への対応について

学生が感染した場合で、保健所の調査により当該学生と濃厚接触があったとみなされた学生も自宅待機とします。

また、調査が完了するまで濃厚接触があったと疑われる学生についても自宅待機とする場合があります。

5. 今後の感染拡大防止のための対応について

学生の課外活動については、「学校法人駿河台大学における新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」に基づき、5月31日（日）まで、以下のとおり対応してください。

(1) サークル活動（公認団体、体育部会、文化部会、届出団体）

①学内でのサークル活動は、中止または延期してください。

②サークル活動の合宿及び学外での活動は、中止または延期してください。

③懇親会（追いコン）や参加者同士の濃厚接触の可能性が高い実施内容を伴う活動、一定規模の参加が見込まれる企画やイベント等は、中止または延期してください。

(2) 部活動（強化指定・支援クラブ、スポーツ公認団体）

①学内での部活動は、中止または延期してください。

②学内外での合宿、遠征、練習試合、合同練習等は、中止または延期してください。

③懇親会（追いコン）や参加者同士の濃厚接触の可能性が高い実施内容を伴う活動、一定規模の参加が見込まれる企画やイベント等は、中止または延期してください。

6. 感染者に対する不当な偏見、差別の禁止について

現在の日本の状況下において、新型コロナウイルスは誰もが感染し、誰もが気づかないうちに感染させてしまう感染症です。新型コロナウイルス感染症に関連する不当な偏見、差別、いじめ等の行為はしないでください。

7. 新型コロナウイルス感染症に係る影響を受けた学生への支援について

(1) 学費等納付金納入の相談（延納など）は、財務課へ連絡してください。

(2) 家計が急変するなどにより修学継続が困難となっている方の奨学金制度や経済支援のご相談は、学生支援課へ連絡してください。

(3) 「こころ」や「からだ」の相談については、健康相談室へ連絡してください。

8. その他

(1) 今後新たな措置を行う場合は大学公式 Web サイト及びポタロウにて別途お知らせをします。大学が発信するお知らせには十分注意してください。

(2) 新型コロナウイルスに関連した感染症対策については、関係機関からのお知らせなども参考にしてください。

新型コロナウイルス感染症に関連する関係省庁のお役立ち情報 | 首相官邸ホームページ
(http://www.kantei.go.jp/jp/pages/coronavirus_info.html)

9. 本通知に係る本学の連絡先

健康相談室 (Tel)042-972-1783、hoken@surugadai.ac.jp)

学生支援課 (Tel)042-972-1101、gakusei@surugadai.ac.jp)

グローバル教育課 (Tel)042-972-1218、kokusai@surugadai.ac.jp)

財務課 (Tel)042-972-1191、zaimu@surugadai.ac.jp)

3つの密を 避けるための手引き!

- 新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、咳エチケット、手指衛生等に加え、**「3つの密(密閉・密集・密接)」**を避けてください。
- 3つの密が重ならない場合でも、リスクを低減するため、できる限り**「ゼロ密」**を目指しましょう。
- 屋外でも、密集・密接には、要注意。人混みに近づいたり、大きな声で話しかけることなどは避けましょう。

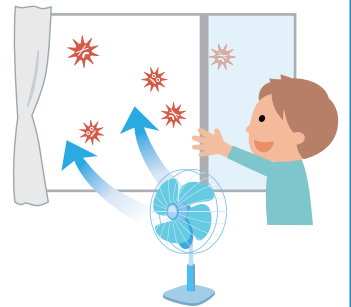


①「密閉」空間にしないよう、こまめな換気を!

「部屋が広ければ大丈夫」、「狭い部屋は危険」というものではありません。カギは「換気の程度」です。WHOも、空気感染を起こす「結核・はしかの拡散」と「換気回数の少なさ」の関連を認めています。

窓がある場合

- ・ 風の流れることができるよう、**2方向の窓を、1回、数分間程度、全開**にしましょう。換気回数は**毎時2回以上**確保しましょう。
- ・ 窓が1つしかない場合でも、入口のドアを開ければ、窓とドアの間に空気が流れます。扇風機や換気扇を併用したり工夫すれば、換気の効果はさらに上がります。



機械換気がある場合

- ・ 窓がない施設でも、建物の施設管理者は、法令により感染症を防止するために合理的な換気量を保つような維持管理に努めるよう定められています。
注)ビル管理法により、不特定多数の方が利用する施設では、空気環境の調整により、一人当たり換気量(毎時約30m³)を確保するよう努めなければなりません。
- ・ したがって、地下や窓のない高所の施設であっても、換気設備(業務用エアコン等)によって換気されていることが通常のため、過剰に心配することはありません。
- ・ しかし油断は禁物です。換気量をさらに増やすことは予防に有効です。冷暖房効率は悪くなりますが、窓やドアを開けたり、換気設備の外気取入れ量を増やしましょう。また、一部屋当たりの人数を減らしましょう。
- ・ 通常の家用的エアコンは、空気を循環させるだけで、換気を行っていません。別途、換気を確保してください。また、一般的な空気清浄機は、通過する空気量が換気量に比べて少ないことから、新型コロナウイルス対策への効果は不明です。

乗り物の場合

- ・ 乗用車やトラックなどのエアコンでは、「内気循環モード」ではなく「**外気モード**」にしましょう。
- ・ 電車やバス等の公共交通機関でも、**窓開け**に協力しましょう。



②「密集」しないよう、人と人の距離を取りましょう!

• 他の人とは互いに手を伸ばして届かない十分な距離（**2メートル以上**）を取りましょう。

• スーパーのレジなどで列に並んでいるとき、前の人に近づきすぎないように注意しましょう。

• 飲食店の座席では、**隣の人と一つ飛ばしに座る**と、距離を確保しやすいです。

また、真向かいに座らず、**互い違いに座る**のも有効です。

店舗の責任者は、椅子の数や配置を工夫して、十分な距離を保ちましょう。

• エレベーターでは、多くの人が密集しがちです。混みあっているときは、一本遅らせましょう。また、健康のためにも、階の上下には階段の利用に努めましょう。

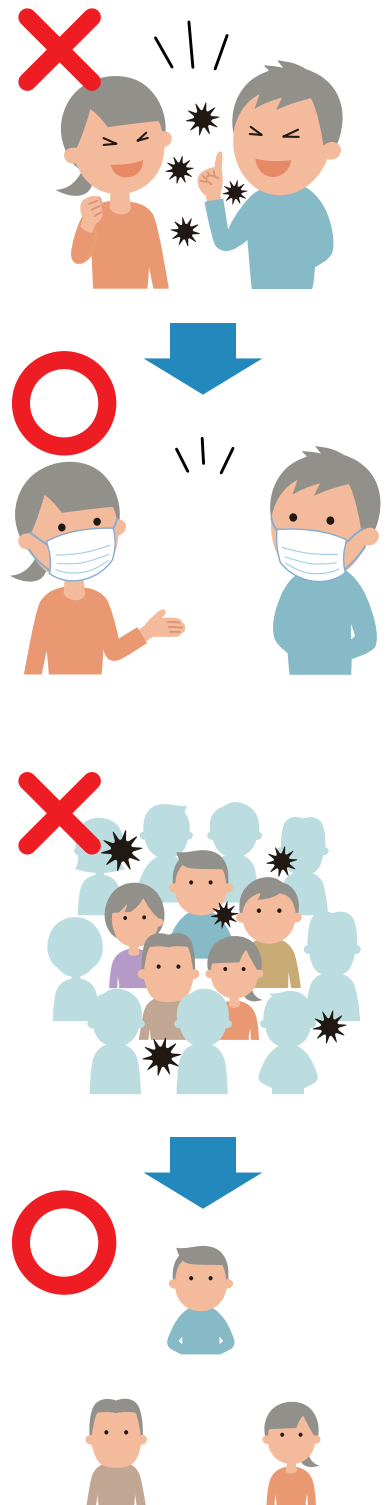
• 職場は、工夫してテレワークへ転換しましょう。導入に向けた支援策もあります。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html#hatarakukata



③ 「密接」した会話や発声は、避けましょう!

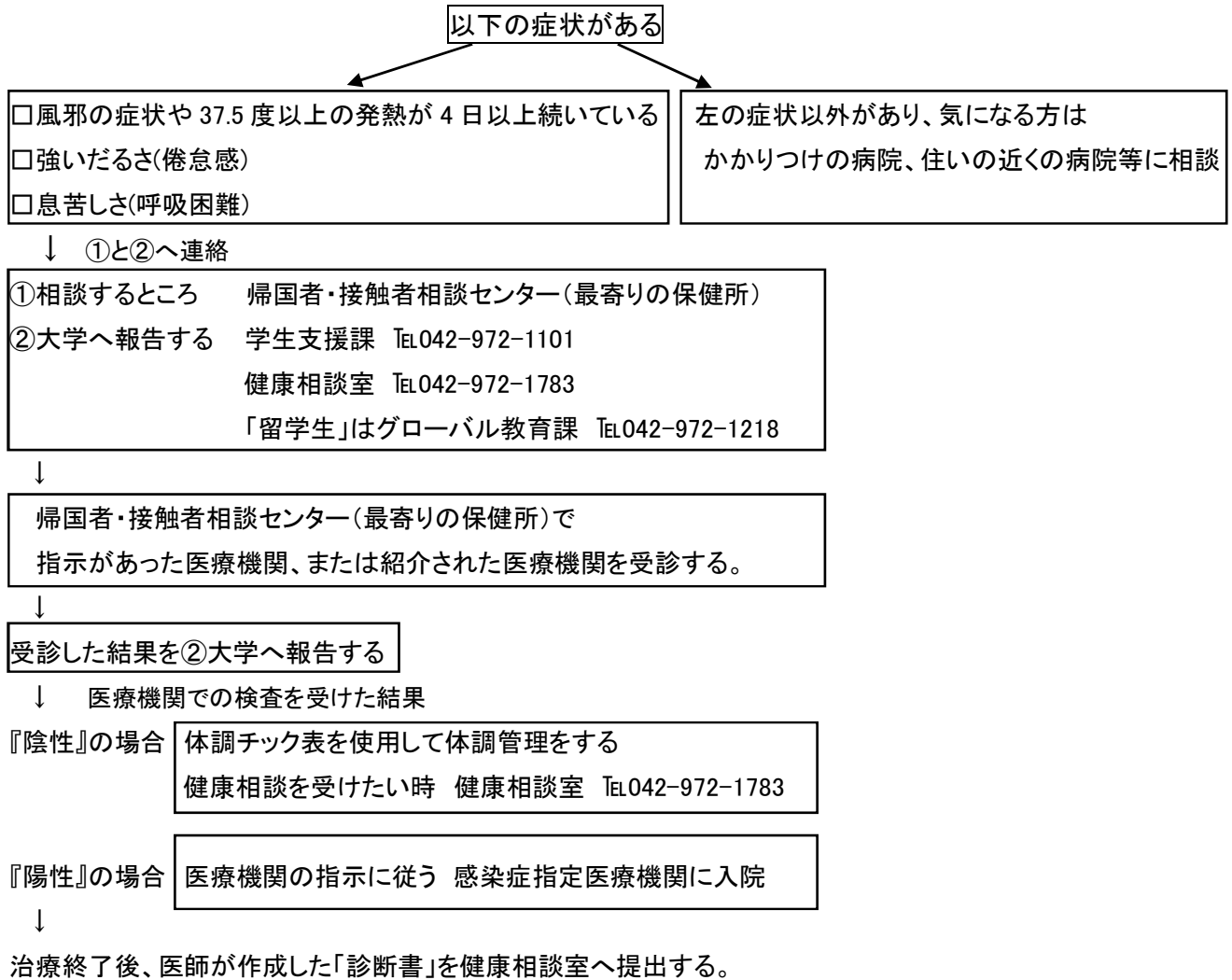
- 密接した会話や発声は、ウイルスを含んだ飛沫を飛び散らせがちです。WHOは「5分間の会話で1回の咳と同じくらいの飛まつ(約3,000個)が飛ぶ」と報告しています。
- 対面での会議や面談が避けられない場合には、**十分な距離を保ち**、マスクを着用しましょう。
- エレベーターや電車の中などでは、距離が近づかざるを得ない場合があります。**会話や、携帯電話による通話を慎みましょう**。
- 飲食店では、マスクを外す時間が長くなりがちです。外している間に飛沫が飛ぶことを抑えるには、例えば多人数での会食のように、大声にならざるを得ない催しは慎みましょう。家族以外の多人数での会食などは避けましょう。
注)「多人数」とは10人以上を想定していますが、なるべく少ない方が良いです。
- スポーツジムなど、多人数かつ室内で呼気が激しくなるような運動を行うことは避けましょう。
- 喫煙も、近くにいる人との「密」に、ことのほか注意して下さい。



新型コロナウイルス感染症対応フローチャート

新型コロナウイルス感染症が疑われる場合、下記のフローチャートに従い行動してください。

○学生自身のこと



○その他

同居の家族が感染した等、自分が濃厚接触者と特定された場合は、電話にて本学へ連絡してください。

- ・学生支援課 TEL042-972-1101
- ・健康相談室 TEL042-972-178
- ・「留学生」はグローバル教育課 TEL042-972-1218

以上

健康管理表

学籍番号: _____ 氏名: _____

日付	第1日目	第2日目	第3日目	第4日目	第5日目	第6日目	第7日目
	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()
体温測定 【朝】	時 分 ℃	時 分 ℃	時 分 ℃	時 分 ℃	時 分 ℃	時 分 ℃	時 分 ℃
	時 分 ℃	時 分 ℃	時 分 ℃	時 分 ℃	時 分 ℃	時 分 ℃	時 分 ℃
怠さ	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有
頭痛	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有
鼻水	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有
咳	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有
息苦しさ	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有
食欲	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有
味覚	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有
におい	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有
その他症状							

注意: 37.5℃以上の発熱、頭痛、強いだるさ、息苦しさは4日以上続いている場合は、最寄りの保健所に連絡して相談してください。

不明な点は、健康相談室(月～土曜日 9時～17時 TEL042-972-1783)まで、お問い合わせください。

健康管理表

学籍番号: _____ 氏名: _____

日付	第8日目	第9日目	第10日目	第11日目	第12日目	第13日目	第14日目
	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()	／ ()
体温測定 【朝】	時 分 ℃	時 分 ℃	時 分 ℃	時 分 ℃	時 分 ℃	時 分 ℃	時 分 ℃
	時 分 ℃	時 分 ℃	時 分 ℃	時 分 ℃	時 分 ℃	時 分 ℃	時 分 ℃
怠さ	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有
頭痛	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有
鼻水	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有
咳	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有
息苦しさ	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有
食欲	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有
味覚	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有
におい	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有	無 ・ 有
その他症状							

注意: 37.5℃以上の発熱、頭痛、強い怠さ、息苦しさは4日以上続いている場合は、最寄りの保健所に連絡して相談してください。

不明な点は、健康相談室(月～土曜日 9時～17時 TEL042-972-1783)まで、お問い合わせください。